

独立行政法人水資源機構分任契約職
木曾川用水総合管理所長 本田 毅
(公 印 省 略)

見 積 依 頼 書

- 1 件 名 長良導水取水口部堆砂測量業務
- 2 業 務 場 所 三重県桑名市長島町西外面地先
- 3 業 務 期 間 契約締結の翌日から令和5年9月30日まで
- 4 内 容 等 別添、仕様書のとおり

上記について、下記により見積合わせを行いますので入札心得等を熟覧のうえ提出して下さい。

記

- 1 現 場 説 明 実施しません。
- 2 見 積 書 等
 - 1) 様 式 等 見積書の様式は任意としますが、見積書には見積年月日並びに見積者の住所及び氏名(法人の場合は、法人名及びその代表者名)を記載し、代表者の印章を押印されたものに限り、ただし、押印は「本件責任者及び担当者」の氏名及び連絡先を明記することで省略することができます。
 - 2) 提出方法 FAXによる。(※FAX番号は、4)に記載された番号)
なお、FAXに抛りがたい場合は、持参又は郵送(一般書留、簡易書留、その他配達の記録が残る方法に限る。)による。
 - 3) 提出期限 令 和 5 年 6 月 6 日 12:00 まで
 - 4) 提 出 先 独立行政法人水資源機構 木曾川用水総合管理所 総務課 中原
TEL 0587-97-3710 FAX 0587-97-1482
 - 5) 見積回数 2回を限度とする。
なお、当初の見積徴取において予定価格の制限に達した価格の見積書がない場合の再度の見積書の提出については、改めて連絡するものとし、再度の書提出の期限は 令和5年6月6日 16:00 までとします。
 - 6) そ の 他 ①見積価格は、見積者が消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を見積書に記載してください。
②見積書を送信した後は、見積書の引き換え若しくは変更又は見積の取消しはできません。また、見積者は見積り誤り、見積書の書き誤り等を理由に見積りの無効を主張することはできません。
- 3 見 積 結 果 見積結果については、契約の相手方として決定した者のみに、原則として提出期限の翌日(翌日が休日となる場合には休日でない直後の日)までに通知します。
 - 1) 契約金額は、見積書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額)とします。
 - 2) 受注代金の支払いについては、履行確認後の一括支払となります。
 - 3) 最低金額を提出した見積者が複数ある場合は、「くじ」により契約の相手方を決定します。
くじの方法は、別添「くじの方法」のとおりとします。

長良導水取水口部堆砂測量業務 仕様書

I. 概要

1. 業務名 長良導水取水口部堆砂測量業務
2. 業務場所 三重県桑名市長島町西外面地先
3. 業務概要 測量業務（数量総括表及び参考図面参照）
・堆砂測量業務 — 1式
4. 期間 休日等を含み、契約締結の翌日から令和5年9月30日までとする。
なお、休日等には、日曜日及び祝日のほか、作業期間内の全土曜日を含んでいる。

II. 総則

1. 適用

本仕様書は「長良導水取水口部堆砂測量業務」（以下、「本業務」という。）に適用する。

2. 工程制限

現地測量作業は、令和5年8月10日迄に実施するものとするが、気象状況、河川流況等を鑑み、詳細な現地測量作業時期は、監督員が別途指示する。

3. 安全管理

受注者は、業務のために動力作業船を使用する場合、必ず海技免許2級小型船舶操縦士以上の免許を有する者が船長として操船していなければならない。

4. 疑義に対する協議等

設計図書に定められた内容に疑義が生じたときは、担当者と協議を行うものとする。

III. 業務編

1. 業務範囲

測量を行う範囲は、長良導水取水口前面の長良川本川（別紙参考図参照）とし、測量の位置及び範囲は、別途監督員と確認し実施するものとする。

項目\施設名	長良導水取水口	備 考
計 画 最 大 取 水 量	4.08m ³ /s	
取 水 位 置	長良川左岸 7.0km+85m	
取 水 口 幅	4.6m×3連	
取 水 口 敷 高	T. P. -2.50m	
取 水 口 底 部 高	T. P. -4.50m	
護 岸 天 端 高	T. P. 1.50m	
取 水 高 水 位	T. P. +4.04m	
取 水 管 理 水 位	T. P. +0.80m～+1.30m	
取 水 最 低 水 位	T. P. -1.50m	
長良川本川まで距離	60m	
供 用 開 始 日	平成10年4月	
竣 工 平 面 図 縮 尺	1/500	

2. 業務内容

- 1) 深浅測量（マルチ）

別紙参考図に示す範囲において、水深が 1m 以上の場合に河川深浅測量により行うものとする。
 なお、河川深浅測量は、マルチビーム測深機（GPS 測位、測深ソナー 60 本×1.5° ビームと同等又は同等以上）により行うものとする。

水面範囲及び測線格子間隔は下表とする。

項目\施設名	取水口～長良川水脈筋まで	備 考
水 面 範 囲	平均幅 63m×78m	
測 線 格 子 間 隔	1 m	

2) 堆砂量計算（スライス法及び平均断面法）

堆砂量計算は、スライス法及び平均断面法により行うものとする。

スライス法においては、業務の結果を基に次の標高に分けて算出する。また、マルチビーム測深区域内の堆砂量の算出については、原則として 0.5m スライスで行い 3 次元地形モデル作成も行う。
 平均断面法においては、別紙位置図に示す測量実施測線の横断面図を使用して堆砂量を算出する。

水面幅は下記に示す。

項目\施設名	取水口～長良川水脈筋まで	備 考
水 面 範 囲	平均幅 63m×78m	
H W L	T. P. +4.04m	
管 理 水 位	T. P. +0.80m～+1.30m	
取 水 口 底 部	T. P. -4.50m	

3) 横断面図作成（縦断面図含む）

横断測量結果を基に縦断面図及び横断面図を作成する。

水面範囲、測線数は下記とおりとする。

項目\施設名	取水口～長良川水脈筋まで	備 考
水 面 範 囲	平均幅 63m×78m	
測 線	11 測線	

4) 測量結果等整理

測量作業が完了した段階で、測量結果を整理するものとする。

水面範囲、測線数は下記とおりとする。

項目\施設名	取水口～長良川水脈筋まで	備 考
水 面 範 囲	平均幅 63m×78m	
測 線	11 測線	

4. 打合せ等

本業務で行う打合せは、次の区切りで行うものとし、着手時は原則として主任技術者が出席する。

- ① 着手時
- ② 成果品納品時

5. 貸与資料

本業務において以下の資料を貸与する。

- ① 長良導水取水口部堆積測量業務（平成 29 年 10 月版、平成 30 年 10 月版、令和元年 9 月版、令和 2 年 9 月版、令和 3 年 9 月版、令和 4 年 9 月版）
- ② その他、監督員が必要と認めた資料

6. 提出書類

本業務の成果品として堆砂測量業務報告書を作成し、1 部提出するものとする。

報告書は A4 版チューブファイルとし、データの CD-R もあわせて提出する。

数量総括表

名称	規格・条件	単位	数量	備考
直接測量費		式	1	
河川深浅測量		式	1	
深浅測量（マルチ）		m ²	4,900	
堆砂量計算（スライス法）		m ²	4,900	
堆砂量計算（平均断面法）		測線	11	
横断図作成（縦断図含む）		測線	11	
測量結果等整理		式	1	
共通		式	1	
打合せ等		式	1	
直接経費		式	1	
旅費交通費		式	1	
間接測量費		式	1	
諸経費		式	1	
測量業務価格		式	1	
消費税相当額		式	1	
測量業務費		式	1	

長良導水取水口部堆砂測量業務

参 考 図

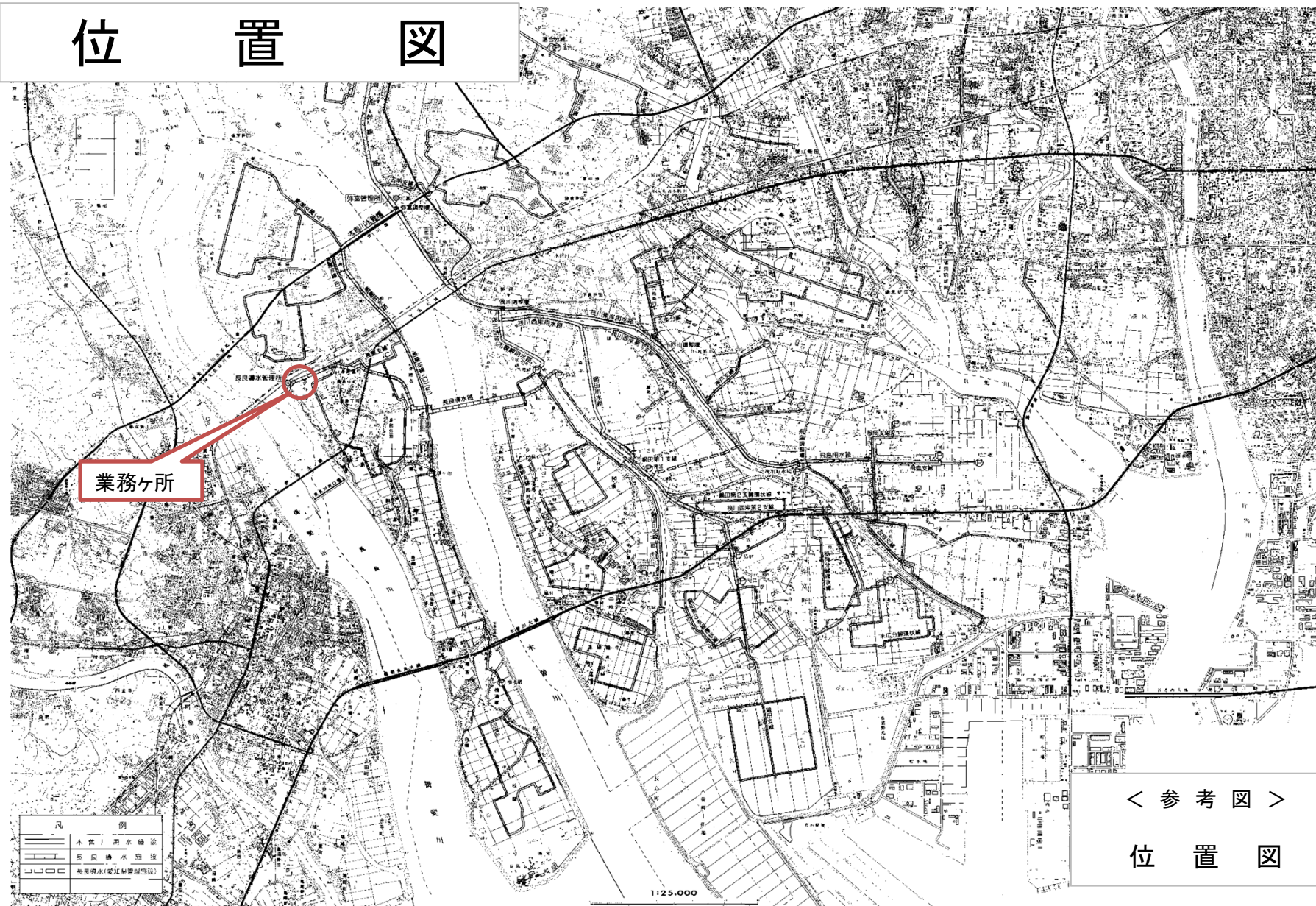
番 号	参 考 図 面 名 称
< 参 考 図 >	位置図
< 参 考 図 >	平面縦断図
< 参 考 図 >	取水ゲート部前面河川内掘削土構図（1／3）
< 参 考 図 >	取水ゲート部前面河川内掘削土構図（2／3）
< 参 考 図 >	取水ゲート部前面河川内掘削土構図（3／3）

令和5年6月

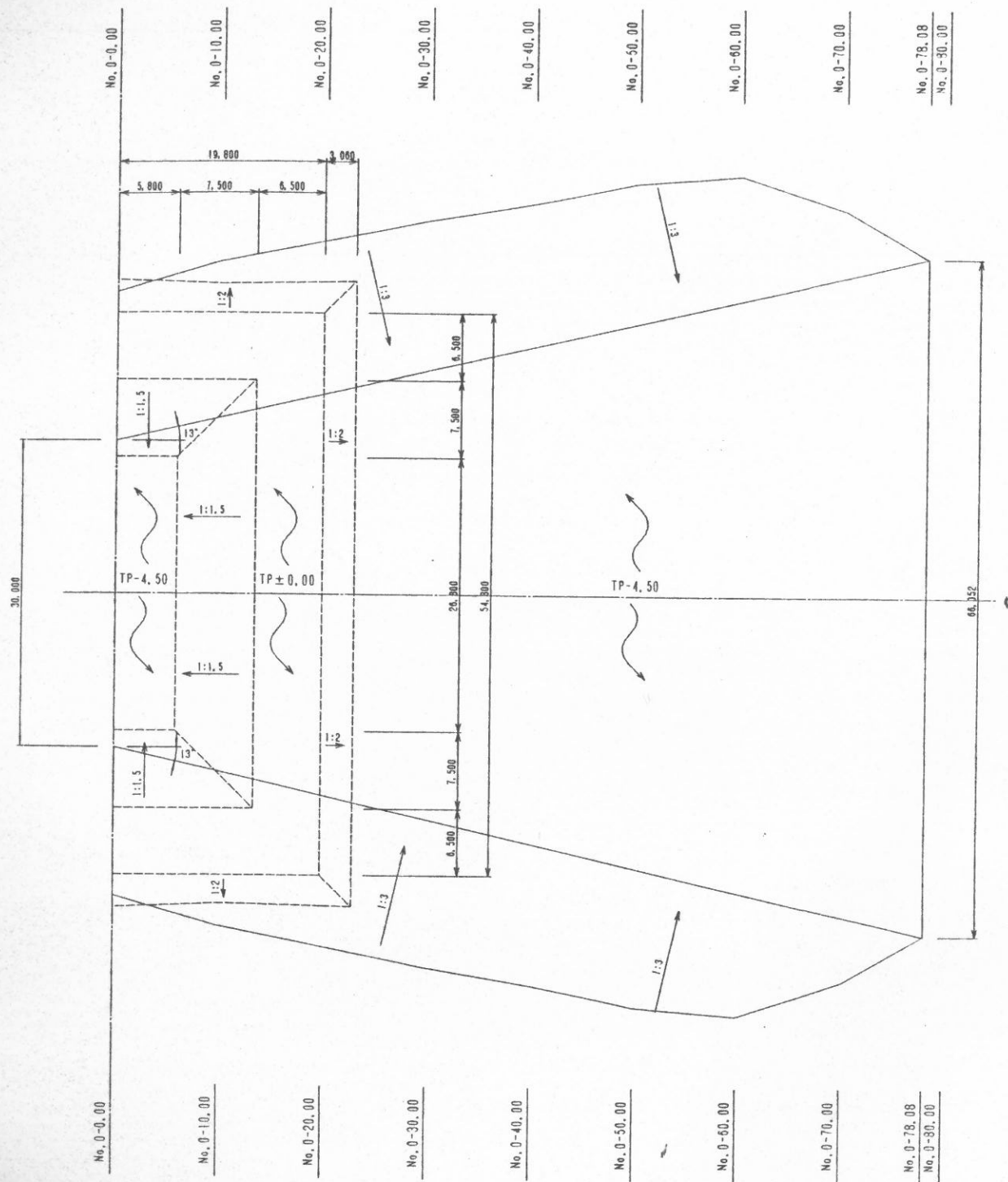
独立行政法人水資源機構

木曽川用水総合管理所

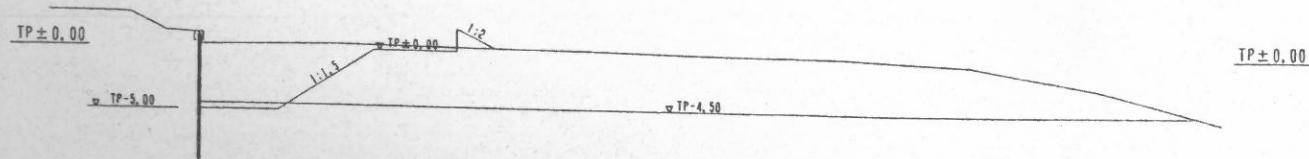
位置図



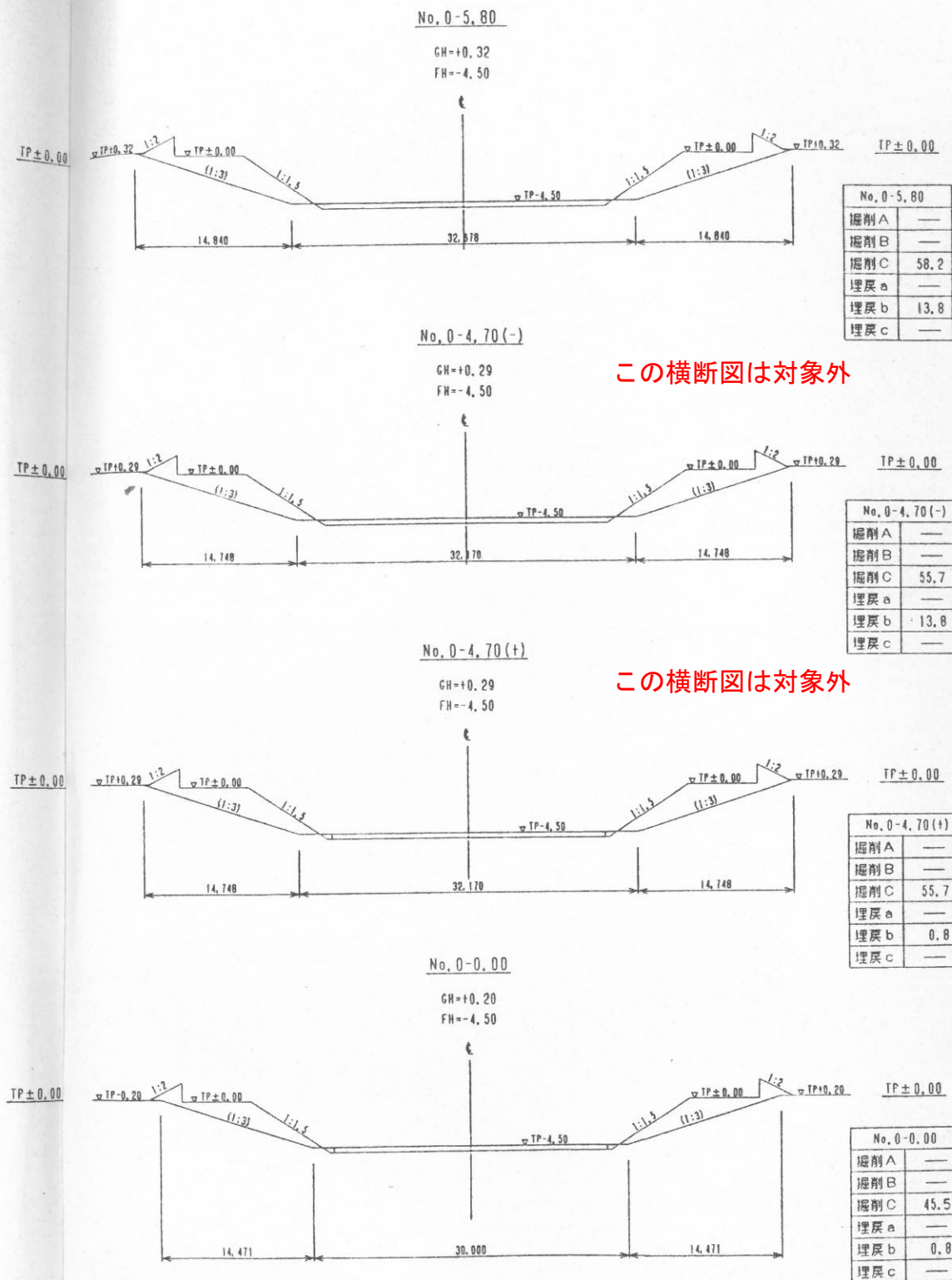
平面図



縦断面図



横断面図

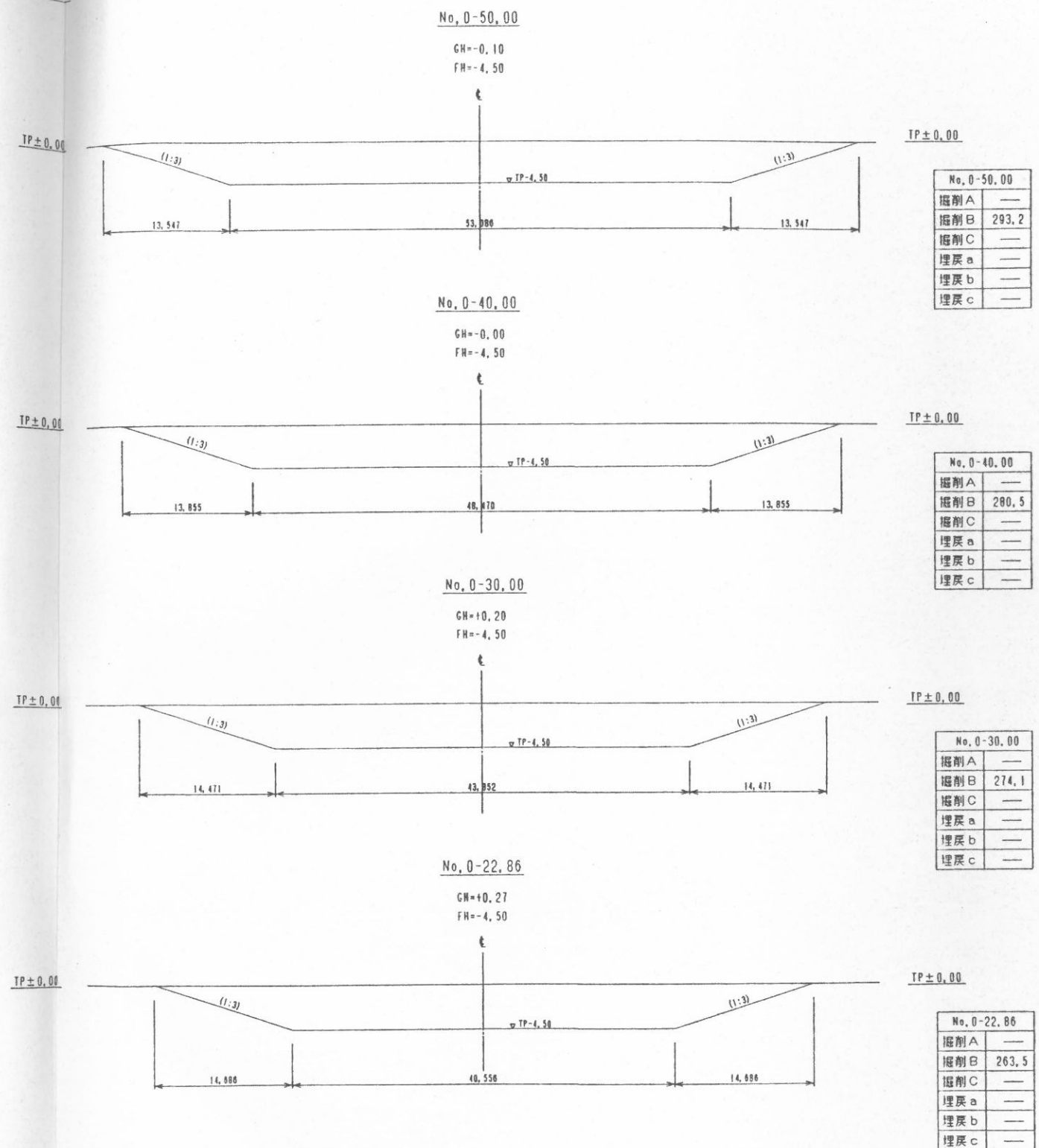
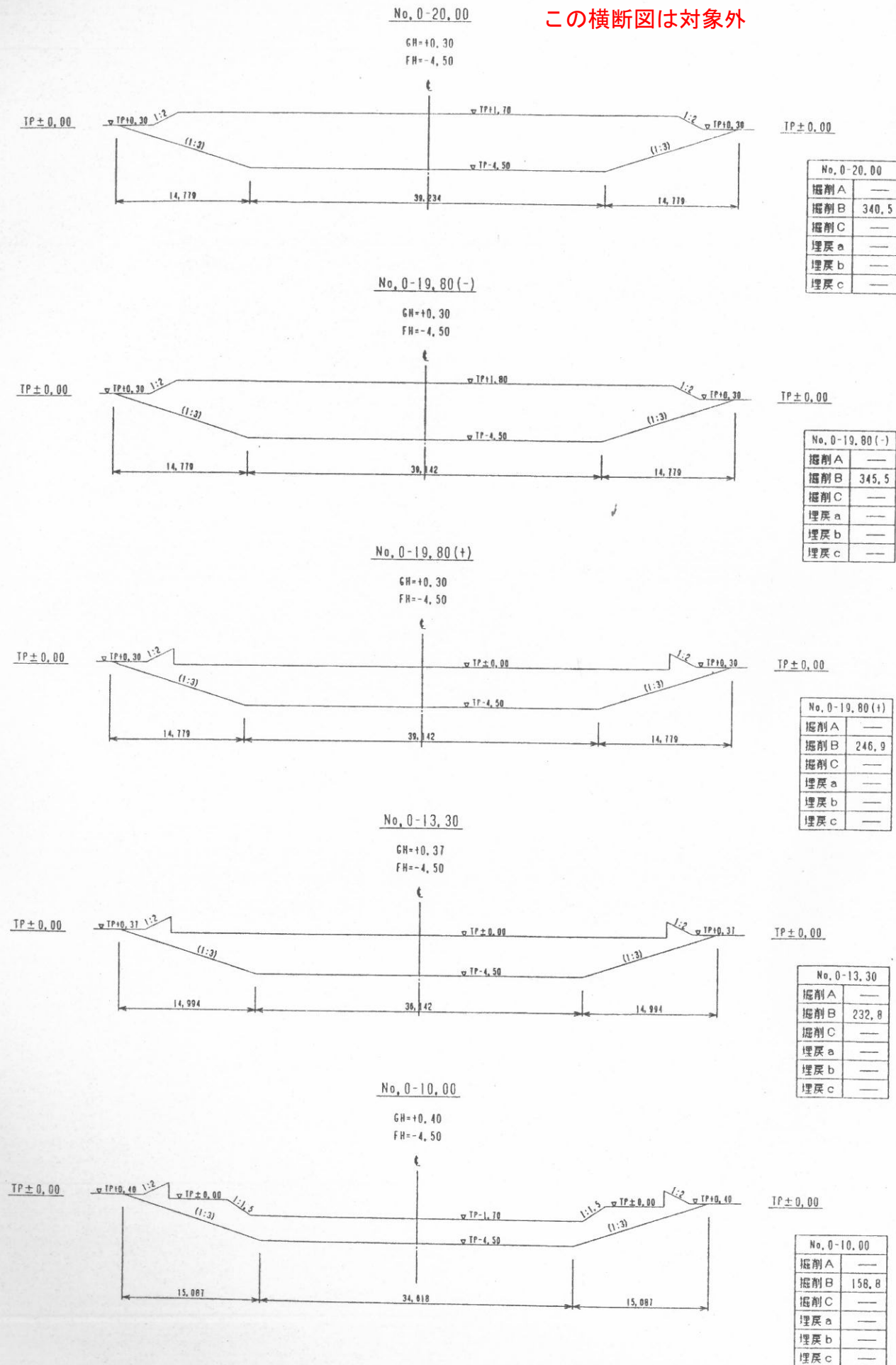


〈参考図〉

△					
△					
△					
回	変 更 内 容			承 認	審 査
承		審		股	
認		査		計	
工事名 長良導水取水施設(堤外部)工事					
名 称 取水ゲート部前面河川内掘削土工図(1/3)					
登録番号			整理番号 9		
水資源開発公団長良導水建設所					

横断図

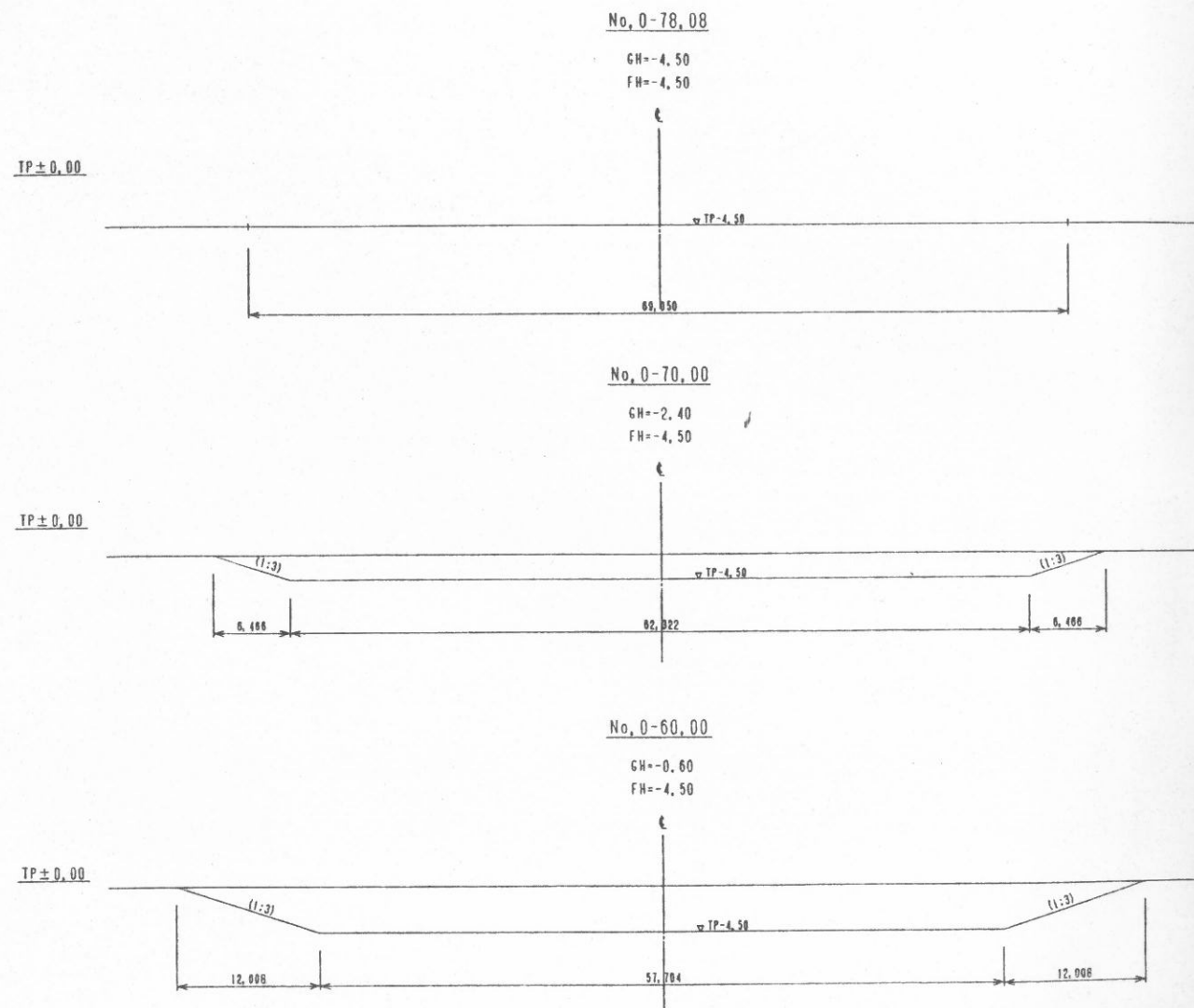
この横断図は対象外



〈参考図〉

△					
△					
△					
回	変	更	内	容	承認
承	審				計
認	査				
工事名 長良渾水取水施設(堤外部)工事					
名称 取水ゲート部前面河川内掘削土工図(2/3)					
登録番号			整理番号 10		
水資源開発公社長良渾水建設所					

横 断 図



TP ± 0.00

No. 0-78.08	
掘削 A	—
掘削 B	—
掘削 C	—
埋戻 a	—
埋戻 b	—
埋戻 c	—

TP ± 0.00

No. 0-70.00	
掘削 A	—
掘削 B	144.5
掘削 C	—
埋戻 a	—
埋戻 b	—
埋戻 c	—

TP ± 0.00

No. 0-60.00	
掘削 A	—
掘削 B	271.9
掘削 C	—
埋戻 a	—
埋戻 b	—
埋戻 c	—

堆砂量計算（平均断面法）及び横断面図作成（縦断面図含む）については、横断面図に表示されている測点のうち、No. 0-4.70と No. 0-20.00の2箇所は対象外とする。

〈参考図〉

△				
△				
△				
回	変 更 内 容		承 認	審 査 設 計
承	審		設	
認	査		計	
工事名 長良導水取水施設(堤外部)工事				
名 称 取水ゲート部前面河川内掘削土工図(3/3)				
登録番号		整理番号 11		
水資源開発公団長良導水建設所				

(案)

FAX送信先 0587-97-1482

独立行政法人水資源機構 木曽川用水総合管理所 経理課 中原 あて

令和 年 月 日

独立行政法人水資源機構 分任契約職

木曽川用水総合管理所長 本田 毅 殿

住 所
会 社 名
代表者氏名

見積依頼書等の交付受領書

令和 年 月 日に交付された(件名:長良導水取水口部堆砂測量業務)の
見積依頼書等を受領しました。

〈連絡先〉

担当部署名:

担当者:

電話番号:

FAX番号:

◆くじ用数値

--	--	--

「くじ用数値」を記載いただくのは、最低価格者が複数となった場合に契約の相手方を決定するためです。詳細は「くじの方法」をご覧ください。

くじの方法

今回の見積徴取に際して、最低金額を提出した見積者(以下「同価格者」という。)が複数あった場合、以下の方法により、契約の相手方を決定します。

1. くじの方法について

同価格者の「くじ用数値」の合計を同価格者数で除算し、余りの数値と「くじ用順位」が一致する者を、契約の相手方とします。

2. くじ用数値について

1)「くじ用数値」とは、見積書を提出される方が、任意に決定していただく「0:ゼロ」から「999」の3桁の整数とします。なお、数値の記載等がない場合は「0:ゼロ」として取り扱わせていただきます。

2)「くじ用数値」の機構へ対しての通知方法は、機構から送信(FAX)した見積依頼書の受信確認を機構に対して返信(FAX)する際に記載してください。この場合、機構から特に受信確認に用いる様式の指定がない場合は、通信欄などに下記のように記載してください。

記載例)

くじ用数値		
1	2	3

※数字は、明確に記載してください。

3. くじ用順位について

「くじ用順位」とは、同価格者が機構に対して見積書を送信(FAX)していただいた順に、「0:ゼロ」から順に付番させていただく番号となります。

- 例) ・同価格者が2者の場合、見積書の送信順に「0:ゼロ」、「1」
 ・同価格者が3者の場合、見積書の送信順に「0:ゼロ」、「1」、「2」

4. 具体的な決定方法について

例) ・同価格者が2者の場合

見積業者	見積額	くじ用順位	くじ用数値
〇〇工務店	¥500,000-	0	123
□□工業	¥600,000-		999
△△組	¥500,000-	1	4

123+4=127

127÷2者=63 余り 1

・余り「1」とくじ用順位「1」が合致する、
△△組 が契約の相手方となる。

例) ・同価格者が3者の場合

見積業者	見積額	くじ用順位	くじ用数値
〇〇工務店	¥500,000-	0	123
□□工業	¥600,000-		999
△△組	¥500,000-	1	4
◎◎工業	¥500,000-	2	1

123+4+1=128

128÷3者=42 余り 2

・余り「2」とくじ用順位「2」が合致する、
◎◎工業 が契約の相手方となる。